

社会資本整備審議会 道路分科会 東北・北陸地方合同小委員会

第2回日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろば～温海」WG

議事要旨

1. 日 時 平成23年12月16日(金) 13:00～15:00
2. 場 所 村上市総合文化会館 小ホール
3. 出席者
[委員長]
大川 秀雄 新潟大学 工学部 建設学科 教授
[委 員]
加賀谷 聡一 酒田商工会議所 青年部会員
丸山 結香 (有)MAX・ZEN Performance Consultants 代表取締役

4. 議 事 内 容

○審議結果

議題(1) WGの進め方

- ・WGの進め方について事務局より説明後、了承された。

議題(2) 第1回小委員会、第1回WGの主な意見と対応方針

- ・第1回東北・北陸地方合同小委員会での主な意見と対応方針及び第1回WGでの主な意見と対応方針について事務局より説明後、審議を行い、意見をいただいた。

議題(3) 意見募集アンケート集計結果と地域へのフィードバック方法

- ・意見募集アンケート集計結果と地域へのフィードバック方法について、事務局より説明後、審議を行い、意見をいただいた。

議題(4) 今後の進め方

- ・今後の進め方について事務局より説明後、了承された。

- 就業時間が 16 時間を超える長距離輸送は、ドライバー二人体制が必要とは知らなかった。企業ヒアリングにより、日沿道全線開通は単純な時間短縮効果だけではなく、ツーマン運行からワンマン運行への移行という効果があることもわかった。
- アンケート調査の目的は、整備計画案の多数決ではない。整備計画案の検討にあたり、地元の大勢の方に、重要な観点の見落としがないように意見を伺うことである。
- 整備計画案は、どんな結論でも必ず賛否両論が出る。賛同する意見だけではなく、否定的な意見に対しての配慮が必要。
- アンケート結果報告後の意見聴取は、年末年始で郵便事情が良くないため、投函ボックスやFAX等の方法としていることをアンケート結果報告チラシに記載した方が良い。
- アンケート結果報告チラシの「各質問項目のまとめ」では、「質問項目順」と注釈を入れた方が良い。
- ワーキング委員と地元代表者との意見交換では、A、B、Cルートのもれが良いということではなく、大局的に安全で良い道路を早く整備して下さいという意見だった。安全性は、冬場の凍結や雪に対するルートが確保されることを本当に願っている。また、リダンダンシーや交通安全対策を求める声が非常に印象的だった。
- アンケート結果報告チラシに、本気で事業を進めようとしている主旨を記載して頂くことは大事な観点かもしれない。
- その他意見では、アンケートの目的以外の意見もある。アンケート結果報告チラシでは、これらの意見をいくつか記載した方が良いと思う。回答全てに目を通してというメッセージを発信することも大事と思う。
- 地域間の競争や企業間の競争、または国際間の競争という部分は、今のグローバル化の流れの中では無視できず、県北地域と一緒に巻き込まれていくのもグローバル化だと思う。その視点から見ると、今回の資料（資料2-2）は非常に大切なことだと思う。地元の方は関係ないと思うかもしれないが、広く日本全体という考えを重要視し、国際競争力の強化のために日沿道は非常に強みになるのではないか。
- 物流業界は大変弱い立場にあるが、顧客に叩かれ、かなり厳しいことを言われながらも、日本という国が発展しているという面もある。物流業界が力を付けるためにも、日沿道の整備は非常に良い後押しになると思う。

- 選ばれないルートに沿線の皆さんは不満が生じるだろうと思うが、妥協案の一つとして、インターチェンジの設置が考えられるが、あまりにも設置しすぎると経費が非常に嵩んでしまい非現実的になると思う。ただし、命のみち、救命の格差、命に対する危機を低減する、病院に行けることなどを最低限担保しなければいけないと思う。せめて救急車両だけでも乗り降りが円滑にできるような視点も入れられれば良いのではないかと。
- フィードバック方法として、新聞折り込みチラシは賛成。答えていただいた方達に届きやすい媒体を使うことは、非常に大切なことだと思う。フィードバックまで丁寧に行うことは良いことと思う。
- これまで取り組んできたプロセスは大切なことであり、アンケート結果をどういふふうにするかということ、どう取り扱っていくのかということも、アンケート結果報告チラシに記載することが大切だと思う。
- 地域の不公平感が後々しこりとして残るのではないかとということが懸念される時には、数で決めるのではなく、地域の方の様々な意見や思慮を確認するというアンケートの意図を明確にすべきと思う。
- 今回一番重要なのは、事務局がプロセスを踏んできたことだと思う。今回の様に住民と対話しつつ丁寧に段階を踏んできた例は少ないと思う。アンケート結果報告チラシには、これまでやってきたプロセスを遠慮せずに伝えていくべきだと思う。
- アンケート結果報告チラシに、全体を通しての「総評」を記載したらどうか。総評には、大多数意見を記載した方が良いと思う。
- 自由回答は、アンケート結果報告チラシでは数例紹介し、他はWEB上で全て紹介しますという形式にしておけば良いと思う。自由回答は全て紹介することで、地域の方をはじめ一人一人に、意見を尊重していることをきちんと伝えるべきだと思う。
- アンケート結果のとりまとめは、ワーキング委員による地元意見交換の内容と同様であり、慎重に評価している内容だと思う。
- アンケート結果は、全てホームページ等で公表した方がより皆様からご理解を頂けると思っている。
- 提案として、高速道路のあり方検討有識者委員会がとりまとめた高速道路の「新たな整備の考え方」について、地域の皆様にもご理解頂くことが大切と思っている。

以上